

インフラ基盤の高齢社会工学分科会 令和2年度 活動計画(案)

1. 自動運転本格化で変わる生活と社会インフラの検討

① 国内外の動向並びに事例調査

国交省、経産省、自治体並びに先行企業の取組み動向を引き続き調査し、次項以降に資する情報を収集する。また、海外の先進的な取組みについても調査する。

② 社会課題とその対応策に関する調査、提言

人生100年インパクトハブなどの異業種連携活動で、高齢化した街やインフラの課題を探索し、その対応策を行政機関に提言する。

③ モデルプロジェクトの探索と組成

前項同様、人生100年インパクトハブや日本版CCRC研究会などの異業種連携活動を通じて、高齢化した街やインフラに悩む自治体を選び、その対応策を国の支援も得つつモデル的に検討しプロジェクト化する。

2. 催事の企画と運営

引き続き土木学会と協力して、高齢化社会のインフラの在り方に関するシンポジウムを企画運営し、今後の課題や、当研究会の社会的責任について考えていく。